

軟式野球競技大会要項

1. 参加資格

- (1) 地区中体連に加盟している学校で、大会運営に協力できるチーム。また、硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
- (2) 選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。監督等は出場校の校長・教職員（常勤）・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で、地区・県に登録されたものとする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
- (3) 県・地区中体連の規定に沿った中学生らしい身なり・容姿であること。
- (4) 参加資格の特例を認める。県中体連会報の「開催基準 8 (6) 複数合同チーム」を参照。
- (5) 地域クラブ活動の参加資格については、沖縄県中学校体育大会開催基準「特別規程」による。（沖縄県中学校体育連盟ホームページ参照）

2. 競技方法 トーナメント方式とする。

3. 競技規則 2025 年公認野球規則及び大会特別規則に則って行う。

4. 大会規定

- (1) チームの登録は、選手 20 名、監督 1 名、コーチ 2 名、記録員 1 名の 24 名以内とする。但し、外部コーチが入る場合は 1 名に限る。
- (2) 背番号は 1～20 番を使用し、原則としてポジション順とする。
- (3) チームの選手（監督・コーチ含む）は同色、同形のユニフォーム・帽子を着用する。尚、監督・コーチのシューズについて同色とする。（高校野球対応のものとする。）
- (4) 試合は 7 回戦とし、得点差によるコールドゲームは 3 回以降 10 点差、5 回以降 7 点差とする。但し、決勝は除く。また、日没・降雨などで試合が成立しない場合は、特別継続試合（サスペンデッドゲーム）を適用する。
- (5) 全試合とも延長戦（8 回以降）はタイブレーク方式（無死 1・2 塁継続打順制）を適用する。勝敗を決するまでこれを続ける。
- (6) 投手の投球制限を適用する。【競技者必携】
- (7) 投手の 12 秒ルール及び 20 秒ルールの取り扱い基準を適用する。【競技者必携】
- (8) 夏季総合大会においては、ポイント制を採用しているため、ポイントの高い順にシード校を決定する。
- (9) 新人総合大会においては、地区新人大会（連盟主催）の結果をもとにシード校を決定する。※同一校 2 チームまで出場可能。（同一校の A・B を同じブロックに入れない。）
- (10) 投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を発しない。

5. 申込期日

夏季大会	令和 7 年	5 月	7 日（水）	午後 5 時必着のこと。
新人大会	令和 7 年	11 月	18 日（木）	午後 5 時必着のこと。

6. 申込先 石垣市立石垣第二中学校内 八重山中学校体育連盟事務局 荷川取 保 宛

7. 試合球 夏季大会 全日本軟式野球連盟公認球（内外ベースボールM号球）とする。
 新人大会 全日本軟式野球連盟公認球（ナガセケンコーボールM号球）とする。

8. 表彰 優勝チーム（賞状・優勝旗）、準優勝チーム（賞状）を表彰する。
 個人賞は決勝進出チームから優秀選手・敢闘（各1名・賞状）、打撃賞は1位のみ（賞状・トロフィー）を表彰する。（トロフィーは、夏季大会のみ。）
 打撃賞に関しては規定打席（1試合×2打席以上：準決勝戦・決勝戦までとする。但し、タイブレーク方式は除く。）に達している選手。

9、複数合同

- （1）複数合同チームの編成基準に関しては、中体連会報に準ずる。
- （2）複数合同チームの編成については、複数合同チーム申請書（様式1・2及び名簿）を作成し大会申し込み前（指定日）までに地区中体連事務局に提出する。
- （3）選手以外のベンチ入りについては、監督（両校のうちどちらか1名）、コーチ（両校から各1名）マネージャー（両校から各1名）、合計5名までとする。マネージャーは生徒とする。

9. その他

- （1）専門部の申し合わせ事項と大会特別規則については別に定める。
- （2）予備日として平日（午後4時以降）行う場合もある。
- （3）試合終了後、勝利チームの校歌斉唱を行う。
- （4）各チーム（応援団を含む）のゴミは持ち帰ること。最終試合のチームは試合終了後ダッグアウト、スタンド等の清掃とグラウンド整備を行うこと。